

平成25年度第3回 区政モニター会議 会議録（要旨）

平成25年10月31日（木）

（昼の部）午後2時～午後3時35分

区役所 8階第一会議室

- 1 広報課長あいさつ
- 2 福祉保健部子育て支援課長あいさつ
- 3 事業説明
- 4 事例検討 「中央区における子育て支援施策等の現況について」

事例検討「中央区における子育て支援施策等の現況について」

現在、国では子ども・子育て会議を開き、平成27年4月からの新しい子育て支援政策実施に向け検討を進めています。中央区でも、これを受け、現在、子育て支援施策を検討・計画中であることは、ただいまご説明申し上げましたとおりです。中央区の現況並びに、これら新しい子育て支援施策について皆様のご意見、ご要望をお聞かせください。

質問 トワイライトステイを利用する際、昼間預けている保育所等から京橋の同施設まではだれが連れて行くのか。

子育て支援課長（以下、課長） それは個人的にだれかに依頼していただきたい。

質問 昔に比べたら、確かに子育て支援施策はとても厚くなっている。親たちが、これらの施策を知る機会として、どういうものがあるか。

課長 「あかちゃん天国」事業の中で説明したり、健診の際に渡す「子育てガイドブック」の中に記載している。

質問 家庭福祉員の中には、いわゆる保育パパはいるのか。男性の幼稚園教諭もいるのだから、保育パパがいてもいいと思うが。

課長 補助要員としてはいるかもしれない。

質問 小学校に上がったからの学童クラブにも待機児童はいるのか。

課長 いる。1年生を優先して入会させるので、学年が上がると入れない子どもがどうしても出てくる。そういう子どもにはプレディに入っている。

質問 資料の中に「幼児期の学校教育」とあるが、これは何を指すのか。

課長 「幼稚園」のこと。学校教育法上、幼稚園は学校に当たる。

質問 幼稚園と保育園は今でも役所の所管は違うのか。

課長 今でも違う。幼稚園は文科省、保育園は厚労省である。それを一緒にして内閣府のもと、こども園をつくり始めたところである。

質問 「認可」「認証」「認定」の違いがわからない。

課長 それぞれ根拠となる法律・制度で使われている言葉の違い。「認可」は児童福祉法、「認証」は東京都の要綱、「認定」はこども園法の言葉である。例えば無認可保育所が認可幼稚園と一緒にする場合、法律上、認可幼稚園とは言えず、認定こども園となる。

意見 保育施設の種類が複雑過ぎる。もっとシンプルにならないか。

意見 やはり待機児童解消が一番の問題だと思う。その解決に注力を願いたい。

質問 横浜市で待機児童ゼロになったというが、それはどのような取り組みがなされたのか。

広報課長 横浜市と中央区では待機児童数の数え方が違うと聞くが、もし中央区で横浜市と同じ数え方をしたらどうなるか。

課長 20人弱になる。横浜市の場合は、求職中の母親が保育園への入園を希望しているが、ちゃんと自宅で保育されている場合には待機児童として数えないが、中央区の場合は数えている。国の待機児童の定義・基準が明確ではないため、各自治体で数え方が違ってくる。

意見 保育所への入園希望者が幼稚園への入園希望者よりも増えているのは、預かり資格、預かり時間帯等々、親のニーズへの対応面で両者に差があるのだろう。しかし、両者は同じ区立なのだから、そこは柔軟に対応して、保育園と幼稚園全体で、少しでも待機児童解消に向けて努力してほしい。

意見 築地保育園で高齢者が子どもたちの面倒を見ている様子を見たら、最初は高齢者、子ども双方に戸惑いはあったが、だんだん打ち解けて一緒に遊んでいた。元気な高齢者を家庭福祉員として活用してはどうか。

課長 家庭福祉員になるには、保育士資格、子育て経験、120時間程度の研修受講等といった一定の資格が必要となる。何よりも子どもを安全に預かるという覚悟が必要で、ただちょっと遊びたいという程度では務まらない。高齢者には体力的にもきついのではないかと思う。

意見 いろいろと条件はあると思うが、子育て支援をしてくださる方々の幅を高齢者等に広げていくことが肝要だと思う。

意見 家庭福祉員の年齢条件が65歳までとなっているが、今の時代、年齢ではないと思う。50歳にしか見えない75歳の人もいたりするので、その人のやる気、元気だと思う。積極的に社会に貢献したい高齢者にもっと門戸を開放したらいい。また子どもと一緒にいると高齢者もますます活気づく。

意見 実際に家庭福祉員に子どもを預けたことがある。とても大変な仕事を非常によくやっていただき、感謝している。しかし、家庭福祉員の労働環境は厳しく、それを緩和してやると、もっとやりたい人が手を挙げるのではないかと思う。例えば病欠や有給休暇をとりやすいため、バックアップ要員を準備するとか、

給料を上げるとかしてあげたらいいと思う。

意見 保育士資格等を持っていながら職についていない方も多いため、そのような人々をもっと掘り起こしてはどうか。

課長 都で潜在保育士向けの面接会を行っているが、それでも人手は足りない。

意見 保育施設の場所確保のため、中央区で盛んに行われている再開発事業の認可の条件として保育施設の設置を入れてはどうか。もちろん保育施設は条件メニューの1つで、そのほかにもいろいろあるメニューの中から、その地域に合った条件を開発者に選ばせればいい。

意見 保育園に預けている母親の本音としては、やはり教育面が充実している幼稚園に通わせたい。これを受けて、保育園も昨今は教育面を充実させつつある。両者の差がだんだんわからなくなっている。何か教育面での幼稚園と保育園の異同をはっきりさせてもらえれば、子どもを預ける母親としても安心できる。

意見 中央区では求職中でも保育所に預けることができるとの説明だが、そのように保育所への門戸が広がったのはいいが、肝心の働ける場所がないと困る。区としては子育て支援施策の充実とともに、一度退職した女性の仕事への復帰支援にも努めていただきたい。

意見 やはり労働問題と子育て問題は不可分だと思う。女性の社会進出を促すなら、逆に男性の子育てへの関与を促すため、区としても、区内の企業に男性の育児休暇の取得励行を働きかけてほしい。

意見 例えばパートタイマーで時給1000円で働いている母親が、子どもを施設に1時間800円で預かってもらうとなると、どうしても経済的に厳しい。フルタイムの会社勤めの母親だけではなく、パートタイムや個人で仕事をしている母親たちにも何か支援があるとありがたい。

意見 中央区は非常に便利な区で、区民はその便利さを享受している。また区としては、区全体で子育てしていこうという意志がある。だとしたら、区の目的税として子育て税みたいなものを設けて、子育て支援施策の財源に当てるのもありかなと思った。

意見 ここで上がった意見、特に女性の意見、それは本当にささやかな意見かもしれないが、これらの意見・要望を取り上げて区政に反映させていくことが真の意味で民主化された区政ではないかと思った。区当局や区議会でも真剣に検討していただきたい。